

自動車整備の高度化に対応する人材確保に係る検討 WG の設置について

1. 背景

自動車整備士を志す若者が減少しており、近年、自動車整備要員の有効求人倍率は増加が続き、その解消を図ることが喫緊の課題となっている。さらに、衝突被害軽減ブレーキなどの先進安全技術を搭載している車両や電気自動車などには、多くの電子制御装置が搭載されており、それらの自動車の整備に必要な知識や技能は高度化し、それらに対応できる人材を育成することも喫緊の課題となっている。

今後はレベル 4 の自動運転車両を用いた自動運転サービスの実現も想定されており、自動車整備士の役割が益々重要になっていくと考えられる。

このため、①自動車整備業に必要な人材の確保、②自動車整備士等の能力向上についての検討を関係者が共働して行う本WGを設置する。

2. 検討概要

自動車整備に係る人材の確保・育成に係る現状や課題を整理したうえで短期・中長期に実施すべき取組を検討する。その際、関係者ごとに担うべき役割と取組内容を明確にし、業界全体で計画的・効果的な取り組みを推進する。

<検討内容のイメージ>

●自動車整備業に必要な人材の確保に係る検討：

- (1) 一種養成施設に入学する学生増加策
- (2) 復職者の増加策
- (3) 未経験者の採用
- (4) 外国人の採用

さらに、上記(1)～(4)で自動車整備業に従事する者の職場定着に係る検討をあわせて実施する。

●自動車整備士等の能力向上に係る検討

- (1) 一種養成施設で学んだ卒業生や復職者の能力向上策
- (2) 自動車整備事業者で勤務している自動車整備士や工員の能力向上策

3. スケジュール (案)

令和4年6月頃	第1回WG開催
年度内	数回程度開催し、検討結果をとりまとめ
令和5年度以降	施策の実施、その効果把握や改善策の検討

自動車整備の高度化に対応する人材確保に係る検討 WG 委員名簿 (案)

(順不同・敬称略)

(座長)	酒井 一博	公益財団法人大原記念労働科学研究所 主管研究員
	宇佐川 邦子	株式会社リクルート ジョブズリサーチセンター センター長
	鳥山 美波	ダイハツ東京販売株式会社 (一級自動車整備士)
	野村 耕司	一般社団法人日本自動車工業会 サプライチェーン委員会 サービス部会 委員
	高橋 徹	一般社団法人日本自動車整備振興会連合会 教育・技術部 部長
	塩田 一浩	一般社団法人全国軽自動車協会連合会 常務理事
	荒居 正明	一般社団法人日本自動車販売協会連合会 参事
	平井 一史	全国自動車大学校・整備専門学校協会 副会長
	長谷川 達也	全国自動車短期大学協会 専門委員
	安部 幹也	全国自動車教育研究会 理事
	市川 清	日本自動車車体整備協同組合連合会 理事
	寺島 友義	日本自動車輸入組合 アフターセールス委員会 委員

(事務局)

国土交通省 自動車局 整備課